

社会情勢が複雑化する中で抱える親は多く、児童虐待は増加傾向にあります。市では、子育て支援策として相談機能の充実を図っています。全ての新生児家庭を訪問し、支援相談に当たる「ここにちはあかちゃん事業」は特に高く評価します。しかし、市内の虐待件数は横ばい状態です。そこで、その対策として子育て経験者による援助や保健師による指導助言を行う養育支援訪問事業を実施する考えが

録音版のご案内

えびな市議会だより「録音版」を作成しています。障がい者手帳（視覚）をお持ちでご希望の方は、市社会福祉協議会までお問い合わせください。

問 (235) 0220

深刻な児童虐待の対応策は
市民・ネットの会 西田 ひろみ

問：景気の不透明感などあるか伺います。

答（市長）：児童虐待は、子どもに対する極めて重大な人権侵害で心身に及ぼす影響も大きいためその対策から虐待する恐れの高い親を把握し、早期支援が肝要なため、24年度から実施であります。

12月定例会の会議録を作成中です。3月には市役所1階の情報公開コーナーや中央図書館で閲覧できますので、ご利用ください。また市のホームページでも見ることができます。



市内各地域に居場所の確保を
日本共産党 松本 正幸

問：高齢化が急速に進み、孤立する高齢者は少なくありません。市では23年9月、東柏ヶ谷に高齢者の憩いの場であるハッピーサロンを開設しました。誰もが気楽に集い、楽しく過ごせる居場所が確保されたことは、高齢者の孤立防止につながるものと期待します。市内でも高齢化率が高く、住民の要望が強くあるさつき町に同様の施設を開設する考えがあるか伺います。

答（保健福祉部次長）：ハッピーサロンは、日中、孤独になりがちな高齢者をはじめ誰もが集える憩いの

場です。地域福祉を充実させるため、地区社協や民生委員、自治会など地域住民が中心となり開設するものです。現在、さつき町議会とともに地域住民が中心となり設置に向けた話し合いが行われているとの報告を受けています。

さがみ野駅南口に早期交番設置を
ニュー市政・みんなのクラブ 鈴木 惣太

問：東柏ヶ谷地域住民はさがみ野駅南口への交番設置に強い要望を持ち、長年設置要請を行っていますが、まだ実現していません。市が「安全安心ステーション」を設置し、犯罪の抑止

がなければなりません。

答（市長）：さがみの駅南口への交番設置についても、市内

に努めているのは評価しま

は、11年から県知事、県警本部長、県政総合センター、県議会各派代表へ要望書を提出していますが、現時点での設置は困難であるとの回答を受けています。市としては、今後も引き続き要望していきます。

答（まちづくり部長）：さがみの駅周辺の整備については現在のところ具体的な計画はありません。

答（市長）：野外教育活動の必要性は、十分理解しています。

答（市長）：野外教育活動の必要性は、十分理解しています。